モニタリングサイト 1000　森林・草原調査

鳥類調査データの概要と利用上の注意点

目　次

Ⅰ．利用上の注意点……2

II．データセットの概要……3

Ⅲ．データの内容と説明……4

Ⅳ．参考文献等……5

Ⅰ．利用上の注意点

・本文書にはモニタリングサイト 1000 森林・草原調査のうち、鳥類調査のデータ（以下「データ」という）の概要と利用上の注意点が書かれています。データを利用する際は、必ず「本文書」及び「データの利用方法（https://www.biodic.go.jp/copyright/terms_of_service.html）」をお読みください。これらに書かれている注意点に同意できない場合は、データを利用することはできません。

・モニタリングサイト 1000 については、モニタリングサイト 1000 ウェブサイト（https://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html）をご参照ください。

・データを利用する際は、論文、プレゼンテーション等にデータの出典を下記の例のように明示してください。

＜データ出典の明示例＞
「xxx のデータについては、環境省・モニタリングサイト 1000 プロジェクトによる（BirdData2009B_ver20120328.csv, https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html よりダウンロード）。」
“Data for XXX was provided by the Ministry of the Environment Monitoring Sites 1000 Project (BirdData2009B_ver20120328.csv, downloaded from https://www.biodic.go.jp/moni1000/findings/data/index.html).”

・データについてのご質問は、本文書の最後に書かれている「お問合せ先」までご連絡ください。

・ウェブサイトで公開されていないデータをご利用になりたい場合は、環境省自然環境局生物多様性センターまでお問合せください。

・データは、予告なく随時、変更・修正されます。変更した場合は、ファイルのバージョン番号が変わります。

・本文書は、予告なく変更する場合があります。

II. データセットの概要

・調査サイトに設定したコースにおいて確認された全鳥類のデータです。

・本調査の調査サイトは、コアサイト、準コアサイト、一般サイトの 3 つのタイプがあり、サイトタイプによって、以下のとおり、調査間隔等が異なります。

・調査間隔は、コアサイトが毎年、準コアサイト及び一般サイトがおおむね 5 年に一度となっています。よって、年度ごとに調査実施サイト数は異なります。

・第 1 期（2004～2007 年度）の調査方法は、コア・準コアサイトが約 0.5km のコースでのラインセンサス、一般サイトが約 1km のコースでのラインセンサスです。ただし、傾斜が急であるなど、歩行しながらの調査が困難なコア・準コアサイトで

は、コース上に設定した 3 地点におけるスポットセンサスで調査を行っています。

・第 2 期以降（2008 年度～）の調査方法は、コース上に設定した 5 地点におけるスポットセンサスです。ただし、2008 年度は、ラインセンサスで行ったサイトもあります。

・調査方法の詳細は、森林・草原調査マニュアル鳥類調査(http://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html)をご参照ください。

・データファイルは、調査の行われた年度ごとに繁殖期、越冬期別に分かれています。

調査方法等の概要

<table>
<tr><th rowspan="2">サイトタイプ</th><th rowspan="2">調査間隔</th><th colspan="2">調査方法</th><th colspan="2">コース長</th><th colspan="2">各調査期（繁殖期又は越冬期当たりの調査回数</th></tr>
<tr><th>第 1 期
(2004-2007 年度)</th><th>第 2 期以降
(2008 年度～)</th><th>第 1 期
(2004-2007 年度)</th><th>第 2 期以降
(2008 年度～)</th><th>第 1 期
(2004-2007 年度)</th><th>第 2 期以降
(2008 年度～)</th></tr>
<tr><td>コア</td><td>毎年</td><td rowspan="3">ﾗｲﾝｾﾝｻｽ
又は
ｽﾎﾟｯﾄｾﾝｻｽ</td><td rowspan="3">ｽﾎﾟｯﾄｾﾝｻｽ</td><td>0.5km</td><td rowspan="3">1km</td><td rowspan="3">ﾗｲﾝｾﾝｻｽでは
原則 6 回
ｽﾎﾟｯﾄｾﾝｻｽでは 4 回</td><td rowspan="3">4 回</td></tr>
<tr><td>準コア</td><td rowspan="2">5 年</td><td rowspan="2">1km</td></tr>
<tr><td>一般</td><td>ﾗｲﾝｾﾝｻｽ</td></tr>
</table>

※実際にデータを利用される場合には、前述の「調査マニュアル」をご確認ください。

・種の保全上の配慮から、種名を非公開としている種があります。非公開種はsp.xx（「xx」は数字）と表記されています。各サイトの出現種数を把握できるように、同一サイトで は「xx」は種に固有の数字となっていますが、同一種であってもサイトや調査期（繁殖期又は越冬期）が異なれば別の数字を使っています。

・非公開としている種は、以下の種となります。

✓「環境省レッドリスト」の絶滅危惧 I 類（CR+EN）に掲載されている種または亜種

✓「絶滅のおそれのある野生動植物の保存に関する法律」の国内希少野生動植物に掲載さ れている種または亜種

✓アカショウビン（南西諸島を除く）

✓サンコウチョウ（南西諸島を除く）

✓オオタカ

Ⅲ．データの内容と説明

・ファイル名の例

例 BirdData2024B_ver20250507.csv

鳥類データを示す(BirdData） +調査年度(2024)+B(繁殖期 B、越冬期 W)+データ更新日

・各ファイルは、1 行目がフィールド名、それ以降がデータとなっています。各フィールドの内容は以下のとおりです。

フィールド名	内　　容
サイト ID	サイトを識別するための固有のコードで一般サイトが 3 で始まる数値、コアサイト・準コアサイトが 2 で始まる数値となっている。
サイトタイプ	サイトがコアサイト（毎年調査）であるか準コアサイト（5 年に一度調査）、一般サイト（5 年に一度調査）かを示す。
環境	サイトの環境で、森林または草原のいずれか。
緯度	サイトの緯度で度単位の十進数。小数点第二位を四捨五入した値。
経度	サイトの経度で度単位の十進数。小数点第二位を四捨五入した値。
都道府県	サイトの存在する都道府県名
市町村	サイトの存在する市町村名
サイクル	5 年周期のサイクルを示し、第1期は 2004 年度～2007 年度、第 2 期は 2008 年度～2012 年度、第3期は 2013 年度～2017 年度、第 4 期は 2018 年度～2022 年度、第5期は2023年度～2027年度。
調査年度・時期	調査年度と繁殖期の調査か越冬期の調査かを示す。
地点	スポットセンサスにおける、コースに設けた 5 つの調査地点（A～E）。Z は調査地点間の移動中の記録。第 1 期のコア・準コアサイトでは、調査地点は 3 つ（P1～P3）。ラインセンサスの場合は、空欄。
回	各調査期に行った調査の何回目かを示す。
年	調査を行った年
月	調査を行った月
日	調査を行った日
開始時	調査を行った回の開始時刻の時
開始分	調査を行った回の開始時刻の分
終了時	調査を行った回の終了時刻の時
終了分	調査を行った回の終了時刻の分
天候	調査を行った回の天候
種名※	標準和名。非公開種の場合はサイト毎に「sp.xx」で表示
亜種名※	調査時に亜種の区別がなされている場合には、亜種名を記載。
学名※	学名。非公開種の場合は「－」で表示。
個体数	確認された個体数。非公開種の場合は「－」で表示。

確認区分	S:さえずりの確認。 幼鳥:巣立ちビナの確認。 成鳥:それ以外の確認。 成鳥・幼鳥:幼鳥を含む群れの確認。 50m<又は 200m<:調査範囲外での確認。 非公開種の場合は「－」で表示。
調査方法	調査方法でラインセンサス又はスポットセンサスのいずれか。

※標準和名、亜種名、学名ともに2023年の繁殖期調査結果（file:BirdData2023B_ver20240909.csvまで）までは日本鳥類目録改定第７版に従い、2023年の越冬期調査結果（file:BirdData2023W_ver20250507.csv以降）からは日本鳥類目録改定第８版に従う。

※各フィールド共に、欠測の場合は空欄としています。

Ⅳ．参考文献等

モニタリングサイト1000 森林・草原調査 鳥類調査マニュアル

http://www.biodic.go.jp/moni1000/manual/index.html

モニタリングサイト 1000 ウェブサイト

http://www.biodic.go.jp/moni1000/index.html

環境省レッドリスト

http://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/redlist/index.html

絶滅のおそれのある野生動植物種の国内希少野生動植物の保存に関する法律

http://www.env.go.jp/nature/kisho/hozen/hozonho.html

日本鳥類目録　改定第８版（2024）日本鳥学会

https://ornithology.jp/checklist.html

作成 2025年 5 月

お問合せ先（2025 年 5 月現在）

公益財団法人日本野鳥の会　自然保護室
担当：奴賀俊光・葉山政治
〒141-0031
東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル 3F
Tel:03-5436-2633　Fax:03-5436-2635
E-mail：moni@wbsj.org

NPO 法人バードリサーチ
担当：植村慎吾
〒186-0002
東京都国立市東1-4-28 篠崎ビル302
Tel/Fax 042-505-4044
E-mail：br@bird-research.jp

環境省自然環境局生物多様性センター
担当：保全科
〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1
Tel:0555-72-6033
E-mail：biodic_webmaster@env.go.jp